

報告第7号

株式会社パブリックサービスの経営状況の報告について

株式会社パブリックサービスの経営状況は、別添のとおりであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和4年9月6日提出

逗子市長 桐ヶ谷 寛

経 営 状 況

第31期事業年度 事業報告
自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

第32期事業年度 事業計画
自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

株式会社 パブリックサービス

第31期 事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

株式会社パブリックサービス
代表取締役 稲垣 正

I. 事業の概況

事業の経過および成果

(1) 当事業年度の概要

令和3年度は新型コロナウイルス感染が2年目に入るも感染拡大の勢いは衰えず人々の暮らしは引き続き行動制限を伴った不自由なものでした。当社の事業に関してもコロナ1年目の前年度に比べ売上高および利益の改善が見られたもののコロナ前には届かない状況でした。

新型コロナ感染拡大防止対策により休業等の影響を受けた主な業務一覧

- ・ 緊急事態宣言期間：2021年8月2日～2021年9月30日
- ・ まん延防止等重点措置期間（逗子市が対象区域）
「2021年5月12日～6月20日」・「2021年7月22日～8月1日」
「2022年1月21日～2022年3月21日」

凡例：○は平常通り実施。△は一部実施・条件付きで実施 ×は休業。－は該当なし。

【受託事業】	令和3年 4・5月	6・7月	8月	9月	10月	11・12月	令和4年 1月	2・3月
福祉バス	○	○	× 8/2～8/31	× 9/1～9/30	○	○	○	○
ワクチンバス	－	○ 6/2～7/31	○－ 8/1～8/22	－	－	－	－	○ 2/5～
学校開放	○	○	○× 8/16～8/31	× 9/1～9/30	○	○	○	○

【指定管理】	令和3年 4・5月	6・7月	8月	9月	10月	11・12月	令和4年 1月	2・3月
市民交流センター	△	△	△× 8/18～8/31	×△ 9/1～9/21	△	△	△	△

【自主事業】	令和3年 4・5月	6・7月	8月	9月	10月	11・12月	令和4年 1月	2・3月
私立学校登校時見守り	○	○	夏休み	×○ 9/6～9/13	○	○	○	○
披露山レストハウス	×	×	× 8/1～8/31	× 9/1～9/30	×○ ～10/10	○	○	○

事業別概況

【受託事業】

受託事業は逗子市から受託した公共的業務であり感染防止対策に注力して業務を遂行しました。

- ・福祉バスは逗子アリーナ（池子）を経由するルート2年目に入りました。緊急事態宣言発出中は高齢者センターの臨時休館、まん延防止等重点措置発出時は高齢者センターの利用制限がありましたが利用者数は前年度に比べ6倍に増加しましたが未だコロナ前の4分の1の人数です。
- ・コロナワクチン集団接種会場（スマイル）と市役所本庁舎を往復するワクチンバスの運行を受託しました。1回目は令和3年6月2日より同年8月22日の期間。2回目は令和4年2月5日から同年5月31日まで運行予定です。
- ・街区公園・ハイキングコースの管理業務は台風被害等も少なく順調に遂行しました。
- ・駐輪駐車場（市内4ヶ所）は令和3年10月末の緊急事態宣言の解除後に利用者数回復の兆しが見えたもののコロナ前の水準には至っておりません。
- ・登下校児童交通整理は小坪小、久木小の2校で遂行しました。
- ・学校開放業務（久木小・池子小・沼間小）は臨時休校期間があり稼働は減少しました。
- ・容器包装プラスチック選別業務は葉山町容プラゴミ収集開始2年目に入りましたが当社職員は効率的な作業ペースを把握できるようになりました。
- ・その他の受託業務は順調に遂行しました。

【指定管理事業】

コロナ禍におけるコミュニケーションツールとして市民活動グループ向けオンラインサービスを推進しました。地下温水プールは万全な感染防止対策を講じた結果、利用者数が徐々に回復してまいりました。令和3年4月から11月まで交流センター2階を中心にコロナワクチン集団接種会場として使用されました。感染拡大が沈静化した令和4年3月に「トモイクフェスティバル」を開催いたしました。

【自主事業】

- ・ガーデンケア（ご家庭等の草刈り樹木剪定）は前年度売上を少し下回りました。
- ・逗葉地域医療センター管理・清掃業務および当直業務（医療施設2か所）を無事遂行しました。
- ・ホーム&ビジネス業務においてコロナの影響は限定的でした。市内大型小売店等向けの人材派遣業務は前年度の売上を若干上回りました。空き家管理の受注も増加の傾向にあります。スポットで家庭向け家事支援サービスを複数件受注しました。
- ・市内私立中高等学校の登校時見守りおよびパソコン保守業務、市内特別養護老人ホームの宿直業務も滞りなく遂行しました。

（※）7ページ、12ページに「事業一覧」を掲載しています。

【市民貢献事業】

前年度から引き続き、①「空き家活用支援事業」、②「ネットボックス等購入費補助金交付事業」を実施しました。両案件ともに逗子市の施策と合致しており逗子市の担当部署と協働して遂行いたしました。当該2事業は次年度も引き続き実施する予定です。

(2) 安全第一と顧客サービス向上について

「安全第一」と「顧客サービス向上」は当社の事業を遂行する上で車の両輪にあたり、全職場共通の重点項目として気を緩めることなく注力してまいりました。また、前年度よりコロナ感染拡大防止対策を徹底して実施しております。

① 安全第一の徹底

- ・安全管理に対する緩みはないか担当部長は各職場の主任と連係して確認を行っています。
- ・年3回の主任会議および毎月開催の衛生委員会を通じ安全衛生管理を実施しています。
- ・社長・部長が主要職場を巡回する年2回実施の安全パトロールでは指摘事項等を提示してPDCAを回して都度課題を改善するよう努めております。
- ・指差呼称は各職場で励行しています。
- ・各職場はマスクの常時着用、手指のアルコール消毒、3密の回避を励行しています。
- ・安全衛生の実効性を高めるため安全衛生引当金を有効に使用しています。
- ・自然災害（地震・台風・大雨等）に迅速に対応できるように連絡網等の更新を行っています。

② 顧客サービス向上

- ・各施設の利用者である市民および顧客である市役所ならびに民間企業様に満足頂けるサービスを提供すべく日々研鑽を重ねています。
- ・社員向けには接遇研修、派遣の社員にはスキルアップ研修および健康講座を実施しています。

(3) 高齢者雇用について

① 健康管理

- ・新型コロナに感染した場合、感染の疑いがある場合、濃厚接触者になった場合は上司および本部署長・社長に速やかに連絡を入れることを義務化しています。
- ・健康診断受診を雇用継続の条件にしており、また一人一人の健診結果を記録保存することで日常の健康管理に役立てています。

② 社員統計

当期末の社員総数は前年度末より2名減の126名、内女性は1名増の18名です。全社の平均年齢は69.0歳（前年度より+0.9歳）でした。内訳は「第一事業部」70.6歳。「第二事業部（市民交流センター）」56.6歳です。【表1】をご参照ください。

【表1】

○雇用者統計：受託事業・指定管理・自主事業（ホーム&ビジネスの請負を除く）。

（単位：人）

事業年度（期末日）	社員総数	内訳			
		60歳以上男性	60歳以上女性	60歳未満男性	60歳未満女性
27期（平成30年3月末）	117	99	6	3	9
28期（平成31年3月末）	115	102	5	2	6
29期（令和2年3月末）	130	113	7	2	8
30期（令和3年3月末）	128	109	11	2	6
31期（令和4年3月末）	126	106	12	2	6

（注）市民交流センター職員については、採用時の年齢制限を設けておりません。

○登録者統計：ホーム&ビジネス請負業務。

(単位：人)

事業年度（期末日）	登録者数	内訳			
		60歳以上男性	60歳以上女性	60歳未満男性	60歳未満女性
28期（平成31年3月末）	14	7	7	0	0
29期（令和2年3月末）	6	1	5	0	0
30期（令和3年3月末）	7	1	6	0	0
31期（令和4年3月末）	6	3	3	0	0

※31期：60歳以上男性の内2名が社員兼任。

(4) 損益の状況

① 第31期実績（6ページ、【表2】を参照ください。）

全社

当期の全社売上高は208,538千円、前年度比で7.1%増、金額で13,878千円の増収でした。
 予算比では1.3%増、2,664千円の増収でした。

受託事業

【業務別売上】

(税抜き：単位 千円)

業務	31期実績 (A)	30期実績 (B)	差異(A-B)	備考
※福祉バス	10,051	7,579	+2,472	コロナ禍の緩和
※ワクチンバス	2,727	-	+2,727	新規受注。
公園・ハイキングコース	8,424	8,395	+28	-
駐輪駐車場（4ヶ所）	47,987	52,331	△4,344	契約変更による減額。
※登下校児童交通整理 （久小・小坪小）	1,708	2,020	△311	池子小の減少
※学校開放（久小・池小・沼小）	2,493	1,084	+1,409	コロナ禍の緩和
容器包装プラスチック選別	22,024	22,948	△923	当期は残業の減少
その他受託業務 （広報板掲示・自転車保管場所・屋外広告対策）	3,453	3,844	△390	自転車保管場所業務の業務縮小
計	98,872	98,203	+668	—

※を付した業務は出来高の多寡で売上金額が変動します。

指定管理事業

【種類別売上】

(税抜き：単位 千円)

種類	31期実績 (A)	30期実績 (B)	差異(A-B)	備考
指定管理料収入	37,727	37,727	—	増減なし
会議室使用料収入	8,247	3,193	+5,054	接種会場利用料増加
プール利用料収入	9,526	4,562	+4,964	感染防止対策の徹底
その他収入	2,146	1,392	+753	-
計	57,646	46,875	+10,771	-

自主事業

【業種別売上】

(税抜き：単位 千円)

業務	31期実績 (A)	30期実績 (B)	差異(A-B)	備考
ガーデンケア	23,796	25,450	△1,653	草刈り樹木剪定
医療機関 施設管理	9,775	9,489	+286	管理・当直・清掃
ビジネスサポート	15,961	13,301	+2,659	法人向け・派遣業務ほか
ホームサポート	1,697	1,295	+401	清掃、空き家管理ほか
その他	789	43	+745	—
計	52,019	49,580	+2,439	—

全社

・売上総利益（粗利益）

施設の臨時休館等に起因する売上高の減少がありましたが、前年度に比べ稼働状況は若干好転し粗利益は10,660千円増加の14,472千円でした。

・販売費および一般管理費：

前年度比142千円増の18,726千円でした。予算比では273千円の減少でした。

・営業損失

当期は営業損失4,254千円となりましたが前年度比10,517千円の増益でした。

・営業外収益

当期の営業外収入6,505千円は前年度比8,088千円の減少、主な差異は雇用調整助成金6,158千円の減少およびセンター屋内プール委託費回収額1,309千円の減少でした。

(内訳)

雇用調整助成金（休業に伴う支払賃金の還付）2,402千円、預金利息0.6千円、特定求職者雇用開発助成金（ハローワーク経由で採用、雇用継続が条件の助成）2,150千円、披露山公園自動販売機収入731千円、安全衛生引当金繰入317千円、市民交流センター屋内プール委託費回収額788千円（休業期間中のプールスタッフ人件費返還額）。

※参考：調整後売上総利益（粗利）

雇用調整助成金収入およびプール委託費回収は会計処理上、営業外収益に計上していますが、いずれも売上原価の原価回収額にあたるので調整後売上総利益を算出しました。実質的に第31期は代30期に比べ粗利益は3,191千円改善しています。

	売上総利益 (粗利)	雇用調整助成 金	プール委託費 回収	調整後売上総利 益（粗利）
当期（第31期）	14,472	2,402	788	17,662
前年度（第30期）	3,811	8,561	2,098	14,471

・営業外費用

当期の営業外費用1,519千円で前年度比699千円の減少、主な差異は安全衛生引当金繰入550千円の減少および安全衛生費用114千円の減少でした。

(内訳)

安全衛生引当金繰入1,150千円、安全衛生費用317千円および披露山レストハウスの営業損失51千円、その他1千円。

- ・ 経常利益
731 千円で前年度比 3,129 千円の増益。
- ・ 特別利益
市民貢献準備金取崩益 999 千円。
- ・ 特別損失
市民貢献事業費償却 999 千円。
- ・ 税引前当期利益
731 千円で前年度比 3,510 千円の増益。
- ・ 法人税、事業税および住民税等
200 千円で前年度と同額。
- ・ 当期純利益
531 千円で前年度比 3,510 千円の増益。

【表 2】 損益計算書（要約） （税抜き 単位：千円）

	31 期実績	31 期予算	30 期実績
(売上高)			
・ 受託事業	(98,872)	(99,871)	(98,203)
・ 指定管理事業	(57,646)	(57,461)	(46,875)
・ 自主事業	(52,019)	(48,542)	(49,580)
売上高合計	208,538	205,874	194,659
売上原価	194,065	188,239	190,847
売上総利益（粗利益）	14,472	17,635	3,811
販売費および一般管理 費	18,726	19,000	18,583
営業利益（損失）	△4,254	△1,365	△14,771
営業外収益	6,505	2,102	14,593
営業外費用	1,519	500	2,219
経常利益（損失）	731	237	△2,398
特別利益	999	10,940	4,844
特別損失	999	10,940	5,226
税引前当期利益（損 失）	731	237	△2,779
法人税等	200	200	200
当期純利益（損失）	531	37	△2,979

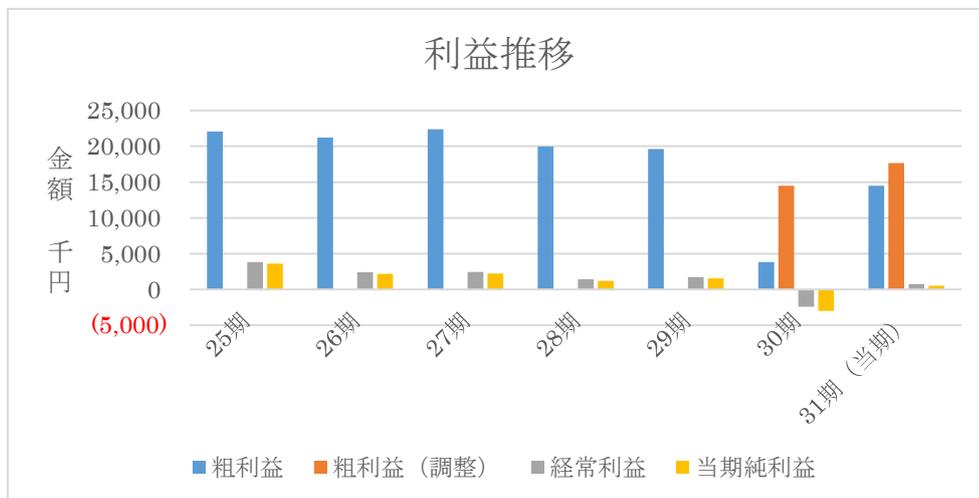
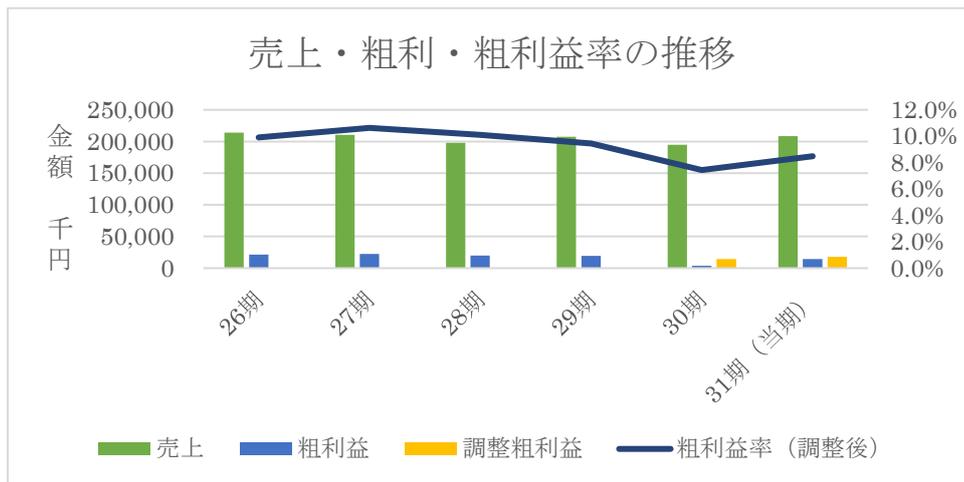
（注）（ ）は売上高の事業別内訳です。
詳細については 7 ページ【表 3】「事業実績に関する事項」をご覧ください。

【表 3】 第 31 期 事業実績に関する事項

事業		売上高 (千円)	利用者数等 (当期)	参考 利用者数等 (前年度)
受託事業 (逗子市)				
	福祉バス/ワクチンバス運行 (出来高)	12,779	福祉バス 9,900 人。ワクチンバス 5,049 人(往復延べ)	1,629 人 (往復延べ人数)
	街区公園・ハイキングコース維持管理	8,153	75 公園, 4 ハイキングコース	75 公園, 4 ハイキングコース
	広報板掲示等業務	1,467	62 ヶ所	62 ヶ所
	清水橋 南・北駐輪駐車場管理	33,384	南・自動車 16,429 台	南・自動車 13,533 台
			南・定期自転車 1,680 台	南・定期自転車 1,688 台
			南・定期バイク 2,763 台	南・定期バイク 2,910 台
			北・一時自転車 34,938 台	北・一時自転車 29,912 台
	JR 逗子駅 西・東駐輪場管理	14,602	北・一時バイク 37,416 台	北・一時バイク 36,154 台
			西・定期自転車 2,377 台	西・定期自転車 3,629 台
			西・定期バイク 1,574 台	西・定期バイク 1,937 台
			西東・一時自転車 33,351 台	西東・一時自転車 35,337 台
			西東・一時バイク 18,049 台	西東・一時バイク 17,882 台
	高齢者センター他グリーンメンテナンス	211	春秋各 1 回	春秋各 1 回
	小坪保育園樹木剪定	59	園内管理	園内管理
	自転車等保管場所	1,431	自転車 199 台	自転車 198 台
			バイク 16 台	バイク 16 台
	登下校児童交通整理 (出来高)	1,708	-	-
	学校施設開放管理 (出来高)	2,493	13,857 人 (久小・池小・沼小)	4,804 人 (久小・池小・沼小)
	容プラ処理業務	22,024	ベール 1,419 トン	ベール 1,416 トン
	屋外広告物対策事業	310	違反広告監視	-
	その他 (スポット)	244	-	-
	【計】	98,872		
指定管理者事業 (逗子市)				
	会議室・市民交流スペース等 利用者数	57,646	センター全体 83,121 人、 内 41,421 (ワクチン)	センター 40,679 人
	プール利用者数		35,234 人	17,955 人
	【計】	57,646		
自主事業 (民間・個人)				
	ガーデンケア	23,796	630 件 (作業済)	685 件 (作業済)
	民間施設管理・清掃・当直	9,775	市内医療機関 2 ヶ所	-
	ホーム&ビジネス・サポート	17,658	派遣・請負	-
	その他	789	-	-
	【計】	52,019		
(注)	披露山レストハウス売店 売上	122	当期 51 千円の損失	-

(注) 披露山レストハウス売店は共同事業(JV)であり売上高は損益計算書には反映しておりません。持分相当の出資金(B/S)と損益(P/L)のみが当社財務諸表に反映しております。

(5) 事業損益の推移 (6期分)



(6) 財政の状況

令和4年3月31日の貸借対照表。

【表4】貸借対照表(要約)

(単位：千円)

		31期	30期
		令和4年3月31日	令和3年3月31日
資産	現預金	85,396	79,847
	その他流動資産	15,167	18,258
	固定資産	519	1,319
	合計	101,084	99,425
負債 資本	流動負債	23,001	20,873
	固定負債	3,000	3,000
	資本金	10,400	10,400
	利益準備金	120	120
	新事業開発準備金	15,464	15,464
	市民貢献準備金	7,714	8,714
	その他利益剰余金	41,383	40,852
	合計	101,084	99,425

(7) 市民貢献事業の使用実績

「市民貢献準備金」は逗子市および逗子市民への貢献を目的とする基金で利益剰余金を原資としています。第25期株主総会（平成28年6月）で株主の了承を戴きました。

・市民貢献事業の内訳

事業名	実績（千円）	備考
空き家活用支援事業	502	次年度も継続予定。
ネットボックス等購入費 補助金交付事業	497	次年度も継続予定。
合計	999	-

2. 業務運営事項

- ・ 令和3年4月 逗子市等との間で令和3年度受託等の契約を締結
- ・ 令和3年5月 第30期 監査役監査の実施
- ・ 令和3年6月16日 第30期定時株主総会開催
- ・ 令和3年7月 「株式会社パブリックサービスの経営状況」を逗子市長へ提出
- ・ 令和3年6月以降 第31期取締役会を6回開催しました。

3. 会社に対処すべき課題

(1) 安全衛生の強化

安全で事故のない職場運営を行うため「指差呼称」の徹底をはじめ、業務の安全点検を継続的に実施します。全社一丸となって新型コロナウイルス感染拡大防止に努めます。

(2) 顧客サービスの品質向上

接客マナーを良くすると共に顧客対応をしっかりと行いサービス品質向上に努めます。

(3) 市民貢献事業

逗子市および逗子市民の公共ニーズおよび暮らしの課題の解決に役立てるために市民貢献事業準備金を有効に活用します。

(4) 新規事業の開拓

逗子市および逗子市民に対し新事業開発準備金を有効に活用します。

「ホーム&ビジネス・サポート事業」の機動性を高め、時代のニーズにあったビジネスを模索してまいります。

(5) 雇用の促進

ホーム&ビジネスを広く展開させ雇用の促進を図ります。特に、当社の社員に占める女性割合が少ないので女性の雇用および活躍を推進してまいります。

Ⅱ. 会社の概況

1. 会社概要（令和4年3月31日現在）

設立年月日	平成3年（1991年）8月26日
払込資本金	1,040万円
主な事業内容	公共施設管理業務等
社員の状況	126名（うち女性18名） 平均年齢69.0歳
主な事業所	
（登記本店）	〒249-0003 逗子市池子4丁目948番地
（逗子ビジネスオフィス）	〒249-0006 逗子市逗子5丁目4番33号 逗子会館2階
事業年度	4月1日から翌年の3月31日までの1年

2. 株式の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 発行済株式の総数 208株（1株額面5万円）

(2) 株主および出資状況

株主名	持株数	出資比率
逗子市	106株	50.96%
株式会社横浜銀行	10株	4.81%
かながわ信用金庫	10株	4.81%
湘南信用金庫	10株	4.81%
逗子市商工会	5株	2.40%
社会福祉法人逗子市社会福祉協議会	1株	0.48%
市民株主 49名	64株	30.77%
その他	2株	0.96%

3. 取締役および監査役（令和4年3月31日現在）

職名・氏名	主な役職名
代表取締役 稲垣 正	当社社長
取締役 柏村 淳	逗子市副市長
取締役 湊屋孝之	逗子市商工会顧問、鎌倉法人会参与
取締役 玄 真琴	逗子葉山経済新聞編集長
取締役 岸原 晃	社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会会長
監査役 古畑 優	株式会社横浜銀行逗子支店長

Ⅲ. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当ありません。

Ⅳ 業務の適正を確保するための体制の運用状況（参考）

1. コーポレートガバナンス

当社は取締役会設置会社であり、取締役会を年に6回開催しております。

2. コンプライアンス

法令遵守は事業を遂行する上で当然の事であり厳守してまいります。

「(株)パブリックサービス役職員行動規範（平成26年12月施行）」を制定しております。

3. リスク管理

万が一の事故に備えて必要十分な保険を付保しております。

想定される諸リスクに対して適正な対応がとれるように更なる対策を講じてまいります。

4. 内部統制

内部統制が機能する組織および業務プロセスを構築してまいります。

[事業一覧]

受託事業 委託者：逗子市
逗子市内各所と高齢者センターを結ぶ福祉バスの運行。 新型コロナワクチン接種会場と市役所本庁間を運行するワクチンバスの運行。
市内街区公園（75ヶ所）およびハイキングコース（二子山自然遊歩道、神武寺鷹取山、ふれあいロード、披露山浪子不動）4ルートの維持管理
広報板掲示等業務
駐輪場および駐車場（清水橋南駐輪駐車場、同北駐輪場、JR逗子駅西駐輪場、同東駐輪場）4ヶ所の管理運営
高齢者センター・グリーンメンテナンス
小坪保育園樹木剪定 園内管理
自転車等保管場所管理
登下校児童交通整理配置
放課後・土曜日などの学校施設開放管理業務（久木小、沼間小、池子小）
環境クリーンセンターでの容器プラスチック選別業務
屋外広告物対策事業

指定管理 委託者：逗子市
逗子文化プラザ市民交流センターを指定管理者として運営管理する事業

自主事業 委託者：民間
ガーデンケア（市内ご家庭やマンションのお庭の手入れ）
逗葉地域医療センター様の施設管理・清掃・当直業務
逗子桜山クリニック様の当直業務
逗子清寿苑様の庭園管理
ホーム&ビジネス・サポート事業 （人材派遣）大型小売店、私立学校、高齢者介護施設 ほか （請負）個人宅・シェアハウス・民泊施設の掃除、片付けなど

自主事業 共同事業体で運営
披露山レストハウス売店

(注) 事業報告、計算書類および株主資本等変動計算書はすべて消費税額抜きで表示しています。
金額は表示単位未満の端数を切り捨ててまたパーセンテージは表示単位未満の数字を四捨五入して、表示してあります。
数字の前に付く△はマイナスを意味します。

第31期 貸借対照表
(令和4年3月31日現在)

(単位:千円)

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金	505	未払費用	14,114
預金	84,891	未払法人税等	200
売掛金	13,448	未払消費税等	4,681
立替金	100	預り金	568
仮払金	465	仮受金	0
前払費用	131	前受利用料	340
未収入金	640	安全衛生引当金	3,097
流動資産合計	100,182	流動負債合計	23,001
II 固定資産		II 固定負債	
		修繕引当金	3,000
(有形固定資産)		固定負債合計	3,000
建物	0	負債合計	26,001
構築物	0	(純資産の部)	
車両運搬具	518	I 株主資本	
工具器具備品	0	資本金	10,400
(投資その他の資産)		利益剰余金	
披露山売店出資額	382	利益準備金	120
		その他利益剰余金	64,562
		新事業開発準備金	15,464
		市民貢献準備金	7,714
		繰越利益剰余金	41,383
固定資産合計	901	純資産合計	75,082
資産合計	101,084	負債・純資産合計	101,084

(注)有形固定資産の減価償却累計額 : 15,161千円

第31期損益計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		
受託事業	98,872	
指定管理事業	57,646	
自主事業	52,019	
売上高合計		208,538
売上原価		194,065
売上総利益		14,472
販売費及び一般管理費		18,726
営業損失		△4,254
営業外収益		
受取利息	0	
安全衛生引当金戻入益	317	
特定求職者雇用開発助成金	2,150	
雇用調整助成金	2,402	
プール委託費返還金	788	
その他収入	845	
営業外収益合計		6,505
営業外費用		
安全衛生費用	317	
安全衛生引当金繰入	1,150	
その他損失	52	
営業外費用合計		1,519
経常利益		731
特別利益		
新事業開発準備金取崩益	—	
市民貢献準備金取崩益	999	
特別利益合計		999
特別損失		
新事業開発費償却	—	
市民貢献準備金償却	999	
特別損失合計		999
税引前当期利益		731
法人税、住民税及び事業税		200
当期純利益		531

第31期株主資本等変動計算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本						株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金				利益剰余金 合計		
		利益準備金						
			新事業開発準備金	市民貢献準備金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,400	120	15,464	8,714	40,852	65,151	75,551	75,551
当期中の変動額								
市民貢献準備金取崩益				△999		△999	△999	△999
当期純損失					531	531	531	531
当期変動額合計				△ 999	531	△ 468	△ 468	△ 468
当期末残高	10,400	120	15,464	7,714	41,383	64,682	75,082	75,082

(附属明細書)

財 産 目 録
(令和4年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 明 細	金 額	説 明
現金	505	現金
預金	84,891	普通預金、定期預金
売掛金	13,448	逗子市受託分、逗葉地域医療センター、逗子桜山クリニック、ビジネスサポート顧客、ガーデンケア顧客ほか
立替金	100	社員立替金
仮払金	465	駐輪駐車場、自転車保管場所 つり銭
前払費用	131	自動車リサイクル預託金ほか
未収入金	640	市民交流センター利用料ほか
建物	0	-
構築物	0	-
車両運搬具	518	軽自動車10台、バイク2台
工具器具備品	0	物置2棟、プールロッカー、池子事務所エアコン2機
披露山売店出資金	382	共同事業出資分
合 計	101,084	-

負 債 の 明 細	金 額	0
未払費用	14,114	従業員給与(令和4年3月分)、仕入債務
未払法人税等	200	逗子市、神奈川県
未払消費税等	4,681	鎌倉税務署
預り金	568	源泉税等、駐輪場ICカードほか
仮受金	0	
前受利用料	340	市民交流センター前受施設利用料
安全衛生引当金	3,097	安全衛生費充当用
修繕引当金	3,000	修繕費充当用
合 計	26,001	-

注記表

この書類記載の計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」にしたがって作成されています。

(1) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1-1) 資産の評価基準および評価方法

個別原価法によります。

(1-2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法を採用しています。

無形固定資産 定額法を採用しています。

(1-3) 収益および費用の計上基準

収益は実現主義(販売基準)・費用は発生主義によります。

(1-4) 計算書類作成のための重要な事項

① リース取引の処理方法

リース取引はありません。

② 消費税などの会計処理

税抜方式によります。

(2) 貸借対照表に関する注記

(2-1) 保証債務などの金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-2) 取締役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-3) 監査役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(3) 株主資本等変動計算書に関する注記

(3-1) 発行済み株式の数

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 : 15,161千円

前期末株式数 208株

当期末株式数 208株

監査報告書

令和4年5月10日

株式会社 パブリックサービス

代表取締役 稲垣 正 殿

監査役 古畑 優 ⑩

私、監査役は令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第31期事業年度における事業報告、計算書類(貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書)及び付属明細書を監査した結果について、次のとおり報告します。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく報告しているものと認める。
2. 会計帳簿は、正しく記載されており計算書類の記載と合致していることを認める。
3. 計算書類は、計算書類規則に適合し法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
4. 付属明細書は、前掲規則に基づき正しく記載されており、会計帳簿及び計算書類の記載と合致していることを認める。
5. 業務の遂行に関し、法令若しくは定款に違反する重大な事実はなく公正であることを認める。

以 上

監査役の監査報告書 写

第 32 期 事業計画

(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで)

(1) 第 32 期事業概要

新型コロナウイルス感染拡大はやや落ち着いたものの、現在踊り場にいる状態でありこの先の動向が見通せない状況ですが、時間の経過と共にコロナによる負の影響は減衰すると見えています。

受託事業

- ① 容器包装プラスチック選別業務は葉山町受入れ 3 年目に入り処理の要諦も理解が進んでいます。安全第一、夏季の熱中症予防等健康管理に注力し業務に取り組んでまいります。
- ② 福祉バスはご利用者数回復の兆しが見えてまいりました。ワクチンバスは 5 月末で一旦休止し、4 回目ワクチン接種時に運行再開の予定です。
- ③ 駐輪駐車場管理運営業務は下期 10 月から運営主体が「逗子市」から「公益財団法人自転車駐車場整備センター」に変更になる予定です。引き続き堅実に運営してまいります。
- ④ 学校開放業務は前年度末に池子小、沼間小が終了しました。今期は久木小学校の開放業務および逗子小学校の調整会のみになります。
- ⑤ 登下校児童交通整理は小坪小、久木小 2 校の実施になります。
- ⑥ 街区公園ハイキングコース管理、自転車保管場所、その他の受託業務は引き続き堅実に業務を遂行します。

指定管理事業

指定管理業務（市民交流センター）はⅡ期 3 年目に入りました。今期も適切なコロナ感染拡大防止対策を講じてご利用者に安心安全を提供します。停滞する市民活動の活性化に向けて実施する市民貢献事業「市民活動スタート・リスタート応援成 2022」の事務局を市民交流センターが担当します。センター地下温水プールは今期より市立の全小学校が授業で使用いたします。

自主事業

- ・ホーム&ビジネスは既存業務の定着化に務めコロナの状況次第ですが新規開拓も視野に入れます。
- ・ガーデンケア（お庭の草刈り・樹木の剪定）は単に受注拡大を求めず熱中症予防および健康管理に目を配り安定的な業務遂行を目指します。
- ・民間施設管理は顧客満足を高めるきめの細かい業務を遂行します。

(2) 第 32 期事業予算

- ・予算内訳は 3 部構成になっております。
- Ⅰ：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算
- Ⅱ：新事業開発に関する予算
- Ⅲ：市民貢献事業に関する予算

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

【受託事業】

第32期売上は98,284千円、前年度比588千円減収で前年度実績と比べ大きな変動はありません。福祉バスは通常運行を想定します。ワクチンバスは4ヶ月間の運行と見ています。学校開放は2校終了で縮小。駐輪駐車場(4ヶ所)は公益財団法人自転車駐車場整備センターに移行する前提で予算を策定しております。その他受託業務に就いては特記すべき変動はありません。

【指定管理事業】

第32期売上は61,200千円、前年度比3,554千円の増収としました。屋内プールは市内小学校の利用料収入を見ています。ワクチン接種会場の使用はなしとしました。

【自主事業】

第32期売上は49,782千円前年度比2,238千円の減収としました。主な変動はホーム&ビジネス(スポット案件含めず)1,098千円減収、ガーデンケア796千円減収としました。

【全社売上高】209,266千円。

【売上総利益(粗利益)】18,225千円。利益は前年度より改善するとしました。

【販売費及び一般管理費】18,700千円を見込んでいます。

【営業損失】475千円を見込んでいます。

【営業外収益】合計1,750千円。特定休職者雇用開発助成金550千円。安全衛生戻入600千円。自販機収入600千円。

【営業外費用】安全衛生費用600千円

【経常利益】675千円

【当期純利益】475千円を見込んでいます。

II：新事業開発に関する予算

コロナの見通しも見えず、新規投資案件は現時点で未定であります。好機に備えるため予算化をいたします。投資額は将来収益にて回収を目指します。

新規事業名	概算金額(千円)	経費内訳
未定	5,000	未定。
合計	5,000	-

III：市民貢献事業に関する予算

事業名	金額(千円)	備考
市民活動スタート・リスタート支援	1,350	新規案件
空き家活用支援事業	4,000	3年目
ネットボックス等購入費補助金 交付事業	2,040	継続案件：3年目
合計	7,390	

第 32 期 予算損益計算書
(期間：令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日)

(税抜き 単位：千円)

	項目	第 32 期予算	第 31 期実績 (参考)
		①	②
予算I	(売 上)		
	(受託事業収入)	98,284	98,872
	(指定管理収入)	61,200	57,646
	(自主事業収入)	49,782	52,019
	売上高合計	209,266	208,538
	売上総利益	18,225	14,472
	販売費及び一般管理費	18,700	18,726
	営業利益(△は営業損失)	△475	△4,254
	(営業外収益)		
	受取利息	0	0
	安全衛生引当金戻入	600	318
	特定求職者雇用開発助成金	550	2,150
	雇用調整助成金	-	2,402
	雑収入	600	1,635
	合計	1,750	6,505
	(営業外費用)		
	安全衛生費用	600	317
	安全衛生引当金繰入	0	1,150
	雑損失	0	52
	合計	600	1,519
経常利益	675	731	
予算Ⅱ・Ⅲ	(特別利益)		
	新事業開発準備金取崩益	5,000	-
	市民貢献準備金取崩益	7,390	999
	合計	12,390	999
	(特別損失)		
	新事業開発費償却	5,000	-
	市民貢献準備金償却	7,390	999
合計	12,390	999	
	税引前当期利益	675	731
	法人税等	200	200
	当期純利益	475	531

△の金額はマイナスです。